

一分一秒でも早い消火活動のために

消防水利マップ

消火栓・防火水槽の

位置を表示



す。

また、火災現場へいち早く向かうことができるよう、各分団から火災現場までの交通経路も表示、また、火災現場から半径100mの円も表示されるため、到着する前に水利からの中継や交通規制などを検討することも可能になります。このシステムは、市役

市では、迅速な消火活動ができるよう、インターネットを利用して消火栓や防火水槽の位置を確認できる「坂東市消防水利マップ」を作製し、利用を開始しました。インターネットに接続できるスマートフォンやタブレットで、火災の発生場所、消火栓や防火水槽の位置、現在地などが確認できるもので、消防団の皆さんに利用いただくことで消火活動の迅速化が期待されま

■お問合せ

交通防災課 岩井庁舎
内線1474

所職員が無料で利用できるデジタルマップなどを活用して経費をかけずに開発したもののシステムは坂東市ホームページ上で見ることができま

すので、あらかじめ自宅周辺の消火栓や防火水槽を確認しておくこともできます。

経費削減・節電推進 公共施設電力を 特定規模電気事業者に

■お問合せ

管財課 岩井庁舎 内線1243



市では、電気使用料の経費削減と節電対策の推進のため、電力の供給を、これまでの東京電力から特定規模電気事業者(PPS)に順次切り替えています。この切り替えにより、

公共施設全体(市庁舎や小・中学校、公民館など)で対前年度比年間約450万円の経費削減を見込んでいます。

東京電力の電気料金値上げにともない検討を進めてきたもので、日本ロジテック協同組合(東京都中央区)と電気供給契約を結びました。初期費用や設備投資の必要がなく、電力品質や安全性などは業者が保証するもので、これまでと変わることなく電力を使用することができま

す。市では、今後も各種経費の見直しを進め、経費削減の取り組みを進めていきます。

空缶で

節電対策!!

岩井仮設庁舎

岩井仮設庁舎(プレハブ)では、節電対策としてプレハブの屋根に、約3万個のアルミ缶を敷き詰めています。昨年、経費のかからない節電対策として話題となり、屋根の表面



▲仮設庁舎の上に並べられた大量の空缶

温度が10℃以上も下がるといふことで設置したものです。太陽光に温められた空缶内の空気が外気と入れ替わることで、自然空冷の役目を果たすというもの。空缶は熱伝導率が高いアルミ缶を用い、それぞれの缶に穴をあけることで、外気との置き換わりを促しています。

猛暑だった昨年、仮設庁舎は空調設備がフル回転の状況でしたが、今年はこの空缶の設置により空調効率を高め、大幅節電を期待しています。

■お問合せ

管財課 岩井庁舎
内線1243